

地域経済分析システム（**RESAS**）について

平成 2 8 年 3 月 3 0 日

経済産業省 地域経済産業調査室

地域経済分析システム (RESAS) の概要

目的

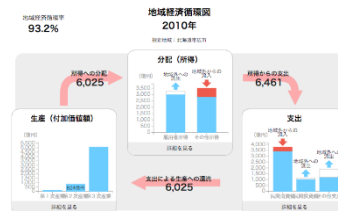
- 人口減少、過疎化が構造的に進展し、疲弊する地域経済を真の意味で活性化させていくためには、自治体が、**地域の現状・実態を正確に把握**した上で、**将来の姿を客観的に予測**し、その上で、**地域の実情・特性に応じた、自発的かつ効率的な政策立案**とその実行が不可欠。
- このため、国が、**地域経済に係わる様々なビッグデータ**（企業間取引、人の流れ、人口動態、等）を収集し、かつ、わかりやすく「**見える化（可視化）**」するシステムを構築することで、自治体による様々な取組における、真に効果的な**計画の立案、実行、検証（PDCA）**を支援する。

RESASを用いて把握できること（一例）

- ①地域の雇用を支える産業
- ②地域を支える「地域中核企業」候補
- ③自治体の収支
- ④農業部門別の販売金額
- ⑤観光客の数や出発地
- ⑥インバウンド観光客の消費動向
- ⑦現在及び将来の人口構成
- ⑧住民の転入・転出先
- ⑨各種指標の地方自治体間での比較



企業数・雇用・売上
で地域を支える
産業を把握可能に
行政区域を超えた
産業のつながりを
把握可能に (※)

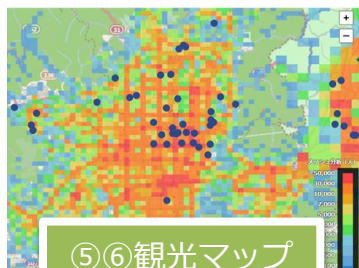


③地域経済循環マップ

自治体の生産・分
配・支出における
お金の流入・流出
を把握可能に

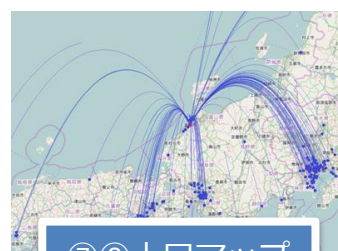


農業部門別の販売金
額割合を把握可能に
農業経営者の年齢・
農地の利用状況を把
握可能に



⑤⑥観光マップ

どこからどこに人
が来ているか把握
可能に
インバウンド観光
動向を把握可能に



⑦⑧人口マップ

人口の転入・転出状
況を、性別・年齢層
別に把握することが
可能に



⑨自治体比較マップ

各種指標を他の自治
体と比較、自らの位
置付けを把握可能に

(※) 企業間取引データは、国および地方自治体の職員が一定の制約の下で利用可能な「限定メニュー」

地域経済分析システム (RESAS) の普及活動

地方創生 ☆ RESASフォーラム2015

「ビッグデータが変える、地方と国の未来」と題して、RESASの可能性について、政府、企業、学識経験者が議論。また、地方自治体によるRESASの先進的な活用事例について、専門家の講評とともに紹介。

【日時】2015年9月15日（火）

【会場】日経ホール（東京都千代田区）

【参加総数】432名（定員を大きく上回る1,441名が応募
インターネット中継で43,466名が視聴）



石破大臣
ご講演の様子

地方創生 ☆ RESAS地域セミナー

RESASが目指すものやその可能性、先進的な活用事例、今回RESASに追加となる新しいマップ（機能）について、広く国民の皆様方に知っていただくことを目的として全国10地域で開催。

【開催期間】2015年9月18日（金）～10月13日（火）

【開催地】札幌市、仙台市、さいたま市、名古屋市、富山市、
大阪市、広島市、高松市、福岡市、那覇市

【参加総数】3,520名（一般の部 1,731名
自治体の部 1,789名）



10/8 関東会場の様子

地方創生 ☆ 政策アイデアコンテスト2015

RESASを活用して自らの地域を分析し、地域を元気にするような政策アイデアを国民から募集

○募集期間：平成27年9月15日（火）～11月15日（日）

○最終審査（平成27年12月13日（日））

○会場：東京大学 伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール

○応募総数 907件！

高校生以下の部：206件（中学生29件）

大学生以上一般の部：701件（大学生431件）



【高校生以下の部】
福島市立岳陽中学校
イノベーション部
＜福島県福島市＞



【大学生以上一般の部】
筑波大学社会工学科・
都市計測実験室
＜北海道津別町＞

政策立案ワークショップ

地方自治体に産業・観光・人口の有識者を派遣し、RESASを活用した政策立案等に関して議論を行うとともに、分析へのアドバイスを行う。

当日の動画を全国の自治体職員に配信し、RESASの利活用に関する知識やノウハウの共有を図る。

- ◆ 地方自治体がデータに基づく政策立案を行うきっかけに。
- ◆ 地方自治体が行政の枠を超えて連携するきっかけに。



8/11 うきは市の様子

【開催実績】

- 8月11日（火）第1回福岡県うきは市
- 10月23日（金）第2回山形県酒田市
- 11月20日（金）第3回愛媛県新居浜市、西条市
- 11月27日（金）第4回北海道帯広市
- 1月29日（金）第5回島根県松江市
- 2月24日（水）第6回三重県おび町自治体

経済産業省の政策立案への活用

地域経済産業グループ

○「中核企業」の発掘
RESASの企業間取引データを用い、コネクタ一度、ハブ度等から、域内の取引額が多く、域外から稼ぐことができるといった「**地域中核企業候補**」を発掘。
立地環境整備課の来年度事業「地域中核企業創出・支援事業（20.5億円）」における支援につなぐ。

経済産業政策局

○ローカルベンチマークの評価指標
「まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン（H26.2.27閣議決定）」において「経営改善が必要な産業・企業の見極めに資する評価手法（**ローカルベンチマーク**）」の検討に当たって、RESASで取り入れている『コネクタハブ企業』の抽出方法を各企業の地域経済に与える影響度の分析手法の一つとして採用し、地域内外の取引状況から、地域経済への貢献度を計ることを可能としている。

商務情報政策局

○IoT推進ラボとの連携
IoT/ビッグデータによる産業活性化を目的として、革新的なデータ分析事例やアイデアを広く公募する「The 1st Big Data Analysis Contest」（平成27年12月18日～1月15日募集）において、分析対象データとしてRESASの流動人口データ、訪日外国人データを提供。

地方自治体の政策立案への活用

- RESASを積極活用し政策立案を行う“トップランナー”自治体を経産局と連携して掘り起こし
- 北海道から沖縄まで20自治体の取組を「自治体利活用事例集」としてとりまとめ

群馬県

首都圏に近い等の地理的優位性を活かした企業誘致を推進する中で、RESASを用いて、「東北地方に販売先を持つ東海エリアの製造業」をターゲットとして、これに該当する企業を抽出・分析することで、効率的・具体的な誘致策を検討。

北海道札幌市

広大な用地が不要で、首都圏からの距離も障壁になりにくいIT産業の振興に取り組む中で、RESASを活用し、自地域におけるIT産業の優位性や課題を把握するとともに、食品加工関係に強みを有する近隣の自治体を特定して、「食×IT」などの産業間連携を促進し、新たな製品やサービスの創出、販路拡大を検討。

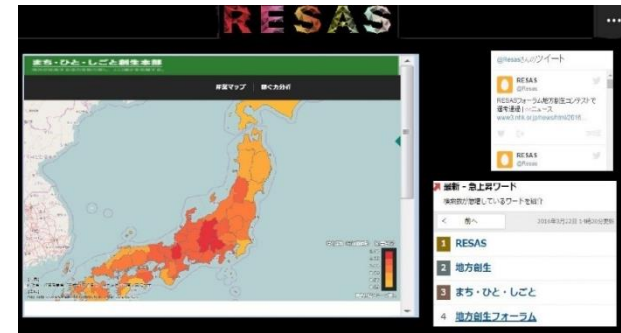
島根県松江市

中海・宍道湖・大山圏域市長会（松江市、出雲市、安来市、米子市、境港市で構成）の一員として、2県をまたぐ広域観光ネットワークの形成に取り組む中で、RESASで圏域の観光分析を行い、5市を訪れる観光客のピーク・オフピーク情報等から観光スポットを効率良く周遊する広域連携ルートを検討するなど、より効率的・効果的な連携の可能性を検討。

今後の方向性について（平成28年度の取組）

- 平成27年4月のリリース以降、RESASは「地方自治体の政策意思決定支援ツール」として、「勘と経験と思い込み(KKO)」から「データに基づく政策意思決定」への移行を支援。いまや、**地方創生の各種交付金の目標設定やPDCAに欠かせないツール**となっている。
- 全都道府県から907件もの応募があった「地方創生☆政策アイデアコンテスト2015」など、**地域住民がRESASを使って地域の将来を考え、互いに語り合う新たな動き**も芽生えつつある。
- データを使って地域の課題を「見える化」し、課題解決の糸口とする、そうした取組を積極的に支援するため、RESASは、以下のような進化・発展を目指していく。

ダッシュボード表示イメージ



Eラーニングシステム・RESASマスターズ制度のイメージ

1. 開発（第Ⅲ期開発）

- ◆ まちづくり、医療福祉、地域経済循環シミュレーションなど **新たなマップ・データ追加**
- ◆ マップの重ね合わせ（**マッシュアップ**）による新しい分析手法
- ◆ 他のブラウザやタブレットに対応（**インターフェイス改善**）
- ◆ 利用者のニーズに応じた画面設計、情報共有機能（**ダッシュボード**）

2. 普及促進

- ◆ 「いつでも、どこでも、誰でも」学べる「**Eラーニングシステム**」
- ◆ RESASの「使い手」を選抜する「**RESASマスターズ制度**」
- ◆ 地域学習に役立つ、教育機関向けRESAS教材の開発
- ◆ 「地方創生☆政策アイデアコンテスト2016」（12月）
- ◆ 地域セミナー、政策ワークショップ等の開催（継続）

